

2020年 春の企画展

※2019年11月時点の情報です。最新情報は、
当館WEBサイトで随時お知らせします。



近代日本の漢字教育展(仮)

2020年4月上旬～6月下旬

漢字を何度も書いて覚えるということは、はるか昔から変わりませんが、漢字の書取試験が始まるのは明治時代のことです。ならば、今では漢字学習に欠かせない「漢字ドリル」はいつ生まれたのでしょうか。本企画展では、現代につながる漢字教育の歴史に迫ります。

▲『書取練習帖』(明治書院、1910年(明治43))

漢字ミュージアム便り

2020年 1～3月号

企画展「カンジ・ムジカ -KANJI MUSICA-」



■春と愛と漢字に溺れる、音とアートの企画展。「見ること」「聞くこと」を通して、漢字を感じるアートな企画展です。言葉が生まれた背景やその未来に思いを馳せながら、日本の自然環境の中で育まれてきた言葉に内在する音や文字について、若手クリエイターと関西の美術学生との共同制作によってその感覚をアートを軸に表現します。

【期間】2020年1月10日(金)～4月5日(日)
【場所】漢字ミュージアム2階
【料金】入館料のみ

漢字ミュージアム関連情報

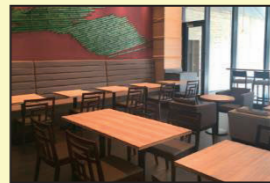
日本漢字学会 第2回研究大会 開催

東京大学駒場 I キャンパスにおいて、2019年11月30日(土)に研究発表が、12月1日(日)にシンポジウムと記念講演会が開催されました。詳しくは日本漢字学会WEBサイト(<https://jsccc.org/>)でご確認ください。

漢検 2月16日(日)検定 受付中
「日本漢字能力検定(漢検)」は、漢字能力を測定する技能検定です。
【申込方法と締切日】
漢検ホームページ・コンビニ:1月17日(金)
取扱書店:1月17日(金)願書協会必着
※書店での申込受付は1月14日(火)まで

Cafe 倭楽

コーヒー、国産牛やだし巻き玉子を使ったサンドイッチなどがそろそろ。ミュージアムチケット提示で割引。



祇園祭ぎやらりい

歴史ある祇園祭を“乙女目線”でとらえた、ポップでかわいい祇園祭アイテムの「乙女の祇園祭」シリーズが大人気!



【営業時間】9:30～19:00 【定休日】月曜(祝日の場合は翌平日)

【展示1】

音響響門閃間立日 - なにゆえの あいうえお ことばはどこから?
文字のない時代に人類が命を営む上で取り巻く自然の姿や音に触れる原始的体験を通し、私たち人類が言葉(ことば)を他者へ伝える口承手段・芸術、そして書く(描く)行為により伝達方法を見出した瞬間を表現した体感型展示です。言葉はどこから来たのか? 果ては音はどこから湧き出たのか? その途方もない問いに対し、ひとひらの閃きを拾う旅への誘い。門に入り、音に触れ、閃き、闇の中で見つけた文字星の光とは如何に?



志人 | 詩人/作詩家

独自の日本語表現の探求により-言葉-に秘められた全く新しい可能性を示す-言葉の職人-。音楽表現のみならず舞台芸術、古典芸能の分野においても国内外で活動する表現者。また森林生態学研究者としても活動し、日々深山に入り地元山林の山守をしている。

【展示2】

声/千間千刻の光

これらのかのいみかわかるとき\それをたすけてのがかんじです/かんじはことばにきめとおくゆきをあたえます/ことばがぞうをむすぶとき\かんじはそれによりい\あなたのこころやしこうがおこるぼしよをゆびさす-このさくひんは\きざまれたいくせんのせんがつくるやみから\いっぽんのいとをひきあげるように\いみのあるむすびめをあなたがみだすけいけん/そのとき\かんじのおとは\あなたとわたしのこえでさいせいされ\あなたのなかであたらしくぞうをむすぶでしょう/

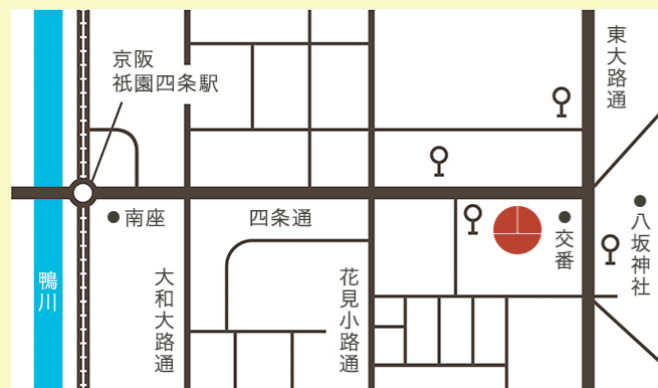


山崎阿弥 | 声のアーティスト/美術家

自らの発声とその反射を用いエコ・ロケーション(反響定位)に近い方法で空間の音響的な陰影を感じしパフォーマンスやインスタレーションを制作する。近年は量子力学に関心をもち、声を手がかりに時間と空間の行方、世界の成り立ちを探求している。

制作協力 || SHAKE ART! 空間構成監修(展示1) || ありひるあ

開館情報・アクセス・入館料



【アクセス】

電車 ・京阪本線『祇園四条駅』 徒歩5分
・阪急京都線『河原町駅』 徒歩8分
・地下鉄東西線『東山駅』 徒歩10分
京都市バス ・『祇園』下車すぐ

※来館者用の駐車場はございません。お近くのコインパーキングか公共交通機関をご利用ください。

【休館日】月曜日(休館日が祝日の場合、翌平日に振替)

※12/31(火)・1/1(水)、1/7(火)～1/9(木)は臨時休館

【入館料】

大人800円/大学生・高校生500円/中学生・小学生300円
小中高生1名以上と同伴の大人は、1名につき300円引き(大人2名まで)

【多言語対応】

※英語・中国語・韓国語に対応
・体験シート多言語版 配布
・音声ガイド貸し出し(1台500円)

▶音声ガイド使用の様子



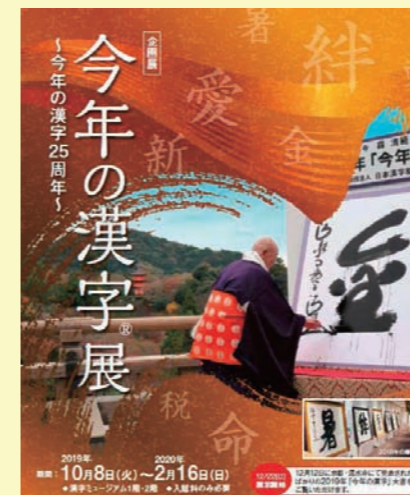
〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地

電話 075-757-8686

ホームページ <https://www.kanjimuseum.kyoto/>

【開館時間】9:30～17:00 閉館30分前まで入館可能

企画展「今年の漢字®」展～今年の漢字25周年～



■歴代の漢字を展示。それぞれの年の報道記事や写真とともに、日本の世相の変遷や、人々の印象に深く刻まれた出来事を振り返ります。

【期間】2019年10月8日(火)～2020年2月16日(日)

【場所】漢字ミュージアム1館・2階

【料金】入館料のみ



2019年「今年の漢字」大書展示

■12月12日に京都・清水寺にて森清範貫主に揮毫いただいた2019年の大書を、漢字ミュージアムに展示。

【期間】12月22日(日)9:30～

【料金】入館料のみ


・2018年の大書

ワークショップの開催日や時間は、漢字ミュージアムWEBサイトでご確認ください。

NEW 書き初め体験！

毛筆で新年の抱負や目標を書いて記念撮影！
書き初め体験は年始の期間限定開催です。


対象や料金はなどは当館WEBサイトでお知らせします。



消しゴムはんこを作ろう！

身近な素材(消しゴム)を使って、古代文字を学びながらはんこを作りましょう。

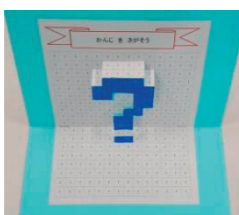
【対象】どなたでも
 ※小学校低学年は要保護者同伴
 【時間】60分
 【定員】10名
 【料金】入館料+教材費300円



漢字で遊ぼう！

お題に合う漢字をさがしてマスに色をぬります。ぬり終わったらカードにして持って帰ることができます。


【対象】小中学生
 小中学生に同伴の大人
 【時間】60分
 【定員】8名
 【料金】入館料+教材費300円



粘土で漢字を作ろう！

漢字から想像した風景や物などを粘土を使って表現します。

【対象】どなたでも
 【時間】90分
 【定員】10名
 【料金】入館料+教材費300円



漢字缶バッジ作り

漢字の意味を考えながらデザインのイメージをふくらませよう。自分だけの缶バッジを2個作れます。


【対象】小学生以上
 【時間】15分
 【定員】なし
 【料金】入館料+教材費100円



千社札を作ろう！

企画展「フォントのホント」関連の限定イベント。9種類のフォントで千社札（古くは世の安泰と家内安全を願う千社参りの札）を作れます。


【対象】小学生以上
 【時間】10分
 【定員】なし
 【料金】入館料+教材費100円



漢字カルタを作ろう！

自分の知っている漢字と部首を使って、オリジナルの手書き漢字カルタを作ります。


【対象】小学生以上
 【時間】60分
 【定員】10名
 【料金】入館料+教材費300円



アイロンビーズで漢字！

アイロンビーズを使って、漢字キーホルダーを作ろう！


【対象】どなたでも
 ※小学校低学年は要保護者同伴
 【時間】60分
 【定員】8名
 【料金】入館料+教材費300円



拓本を取ろう！

墨を使って瓦当（がとう／屋根の先端の円形または半円形の瓦）から文字や文様を紙に写し取ります。


【対象】小学生以上
 ※筆ペンで漢字を書きます
 【時間】30分
 【定員】10名
 【料金】入館料+教材費300円



「#秒で漢字暗記」シリーズ 上映開始

ツイッターで今話題の「#秒で漢字暗記」シリーズが、漢字ミュージアムで上映決定！「檸」「鶯」「鬱」などの難しい漢字を楽しく覚えらるる動画です。

【場所】漢字ミュージアム シアター
 【期間】2020年1月5日(日)まで
 【協力】オジンオズボーン 篠宮暁さん（松竹芸能株式会社所属）
 篠宮さんtwitter @shinomiyaakira



2019年度 後期 漢検 漢字文化研究所 連続講座 第6弾

身近な漢字を考える

私たちの日常生活のいたるところに、何げなく顔を出す漢字について、今回の講座ではいくつかの領域ごとに、あらためて正面から向きあって考えてみたいと思います。

開講日	テーマ	講師
10月19日(土) 14:00~15:30	「正しい漢字」とはなにか？ 「漢字の正しい形」は、時代ごとに変化してきました。その変化をたどり、現代における漢字の諸問題を考えようと思います。	漢検 漢字文化研究所 所長 阿辻 哲次
終了		
11月23日(土) 14:00~15:30	若者と漢文と日本語 国語科の古典の中に漢文があります。21世紀の今になってもなお、日本の児童・生徒に漢文を教え続けているのはなぜかを考えます。	元奈良女子大学附属中等教育学校国語科主幹教諭 谷本 文男
12月15日(日) 14:00~15:30	放送と漢語 漢語は、放送でどのように使われてきたのでしょうか。読み方・用い方など、ラジオ放送開始期からの移り変わりを考えてみます。	NHK放送文化研究所 主任研究員 塩田 雄大
1月11日(土) 14:00~15:30	漢文とAI 漢文からその意味を汲み取る時、AI（人工知能）はどう漢文を読むのでしょうか。ヒトとAIで、漢文の読み方は違うのでしょうか。	京都大学人文科学研究所附属東アジア人文情報学研究センター 教授 安岡 孝一
2月9日(日) 14:00~15:30	新聞づくりと漢字 情報を幅広くスムーズに伝えるには、漢字をどう扱うべきか。新聞づくりと漢字をめぐる歴史を振り返り、これからの考えます。	朝日新聞メディアプロダクション校閲事業部 用語担当 比留間 直和
3月14日(土) 14:00~15:30	令和の時代の漢字辞書 漢字の辞書には、どのような情報が載っていると便利でしょうか？新しい時代に必要とされる辞書の姿を探ります。	辞書編集者 円満字 二郎

※2019年8月時点の所属情報です

講座は、各回違うテーマで、内容が連続する講座ではありません。ご自身の都合に合わせて、ご興味のあるテーマのみの受講ができます。

- 【場所】漢字ミュージアム1階 多目的室 ※13：30入室開始
 【申込】電話(075-757-8686)もしくは当館券売受付
 【聴講料】・<年パスお持ちでない方>各回1,500円(入館料込)
 ・<年パスお持ちの方>各回800円
 ◆10月12日まで全回早期一括申込割引を実施しています。
 ・全回入館料+全回聴講料 8,000円
 ・年パス購入+全回聴講料 6,500円
 ・年パスをすでにお持ちの方は全回聴講料 4,000円
 ※4回以上聴講される大人の方、3回以上聴講される大学生・高校生の方は、年パス購入がおすすめです。

年間パスポートのご案内

購入日から1年間、何度でも入館できる、とってもお得なパスポートです。

【購入方法】漢字ミュージアム券売受付にて販売
 【料金】大人 2,500円 大学生・高校生 1,600円 中学生・小学生 1,000円

